

アロエベラカルス発酵エキス（液体）

開発の経緯

アロエベラ(学名Aloe Vera)はユリ科の植物で原産地はアフリカなどであり、ベラとはラテン語で「本当」を意味しています。アロエベラの栽培法により有用成分に差異が生じることから、有用成分が多く含まれる栽培法としてカルス栽培を利用しました。カルス栽培とは植物の幹細胞を純粋栽培する方法であり、不純物が少なく、有用成分が豊富になります。しかし、アロエベラの有用成分は食物繊維と結合しており、単離して利用することが難しいという欠点がありました。そこで、アロエベラカルスをアサイヤシ果実とともに発酵して発酵エキスを製造しました。発酵エキスの特徴は有用成分が低分子であり、吸収が早く、働きがダイレクトであるという点です。また、アサイヤシ果実とともに発酵することにより抗酸化性が高まり、発酵エキスとしての利用性が 증가します。

化粧品表示名称：

表示名称 アロエベラカルスエキス、ベニコウジ菌／(アサイヤシ果実／コメヌカ)発酵液（配合比率 95:5）

INCI名 Argemone Mexicana Callus Extract、Monascus/Euterpe Oleracea Fruit/Rice Bran Ferment Filtrate

食品用名称：アロエベラカルス発酵エキス(アロエベラカルス、アサイヤシ果実、コメヌカ、ベニコウジ菌)

原材料：アロエベラカルス、アサイヤシ果実、コメヌカ、ベニコウジ菌

特徴 防腐剤、安定化剤などの添加物は添加していません。
菌は死滅しています。
化粧品及び食用に利用できます。

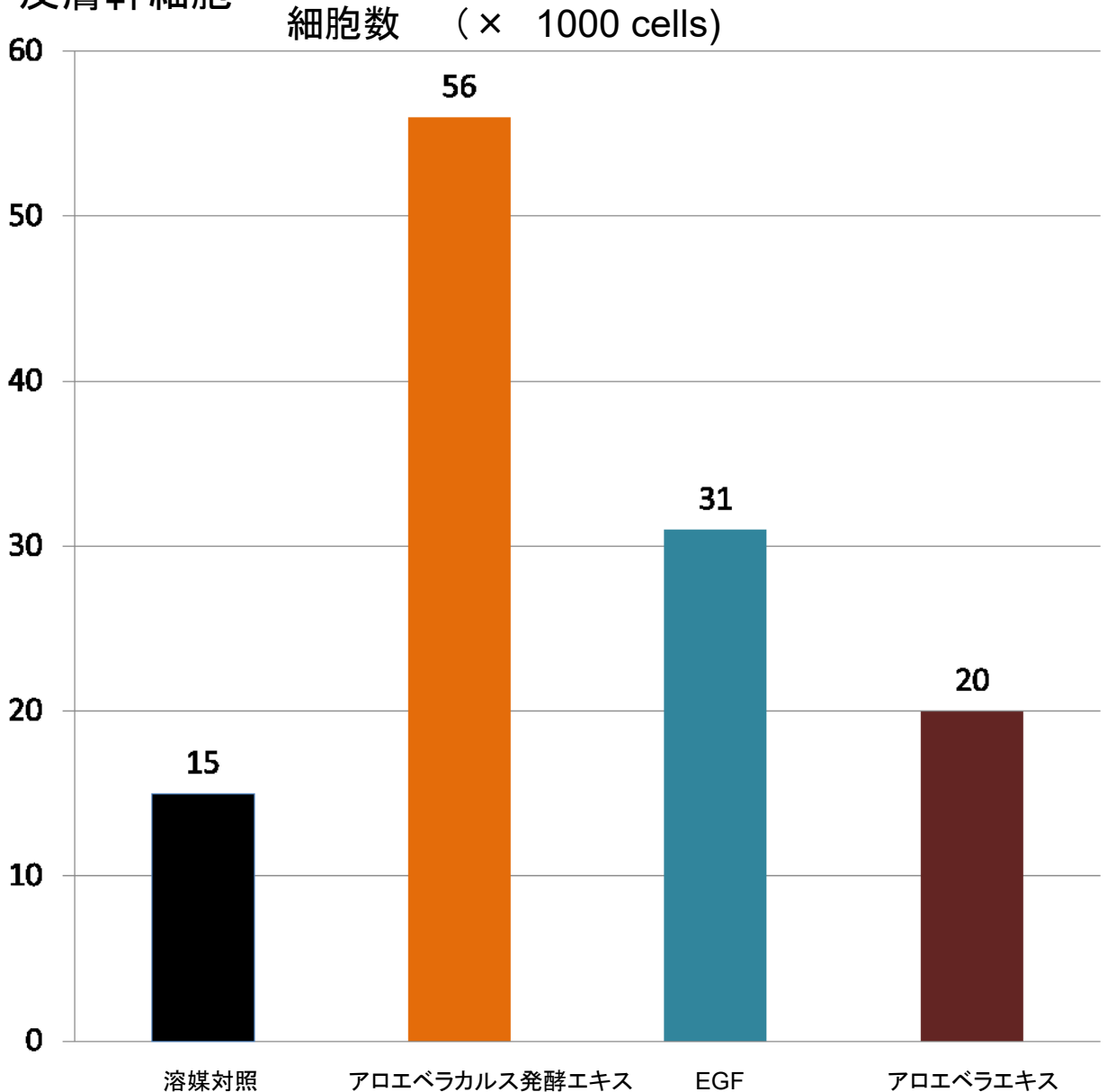
保管方法 直射日光を避け、冷暗所に保管する。

賞味期限 製造後2年間。

アロエベラカルス発酵エキス

ヒト皮膚幹細胞に対する働き — 皮膚幹細胞増殖作用 —

ヒト皮膚幹細胞

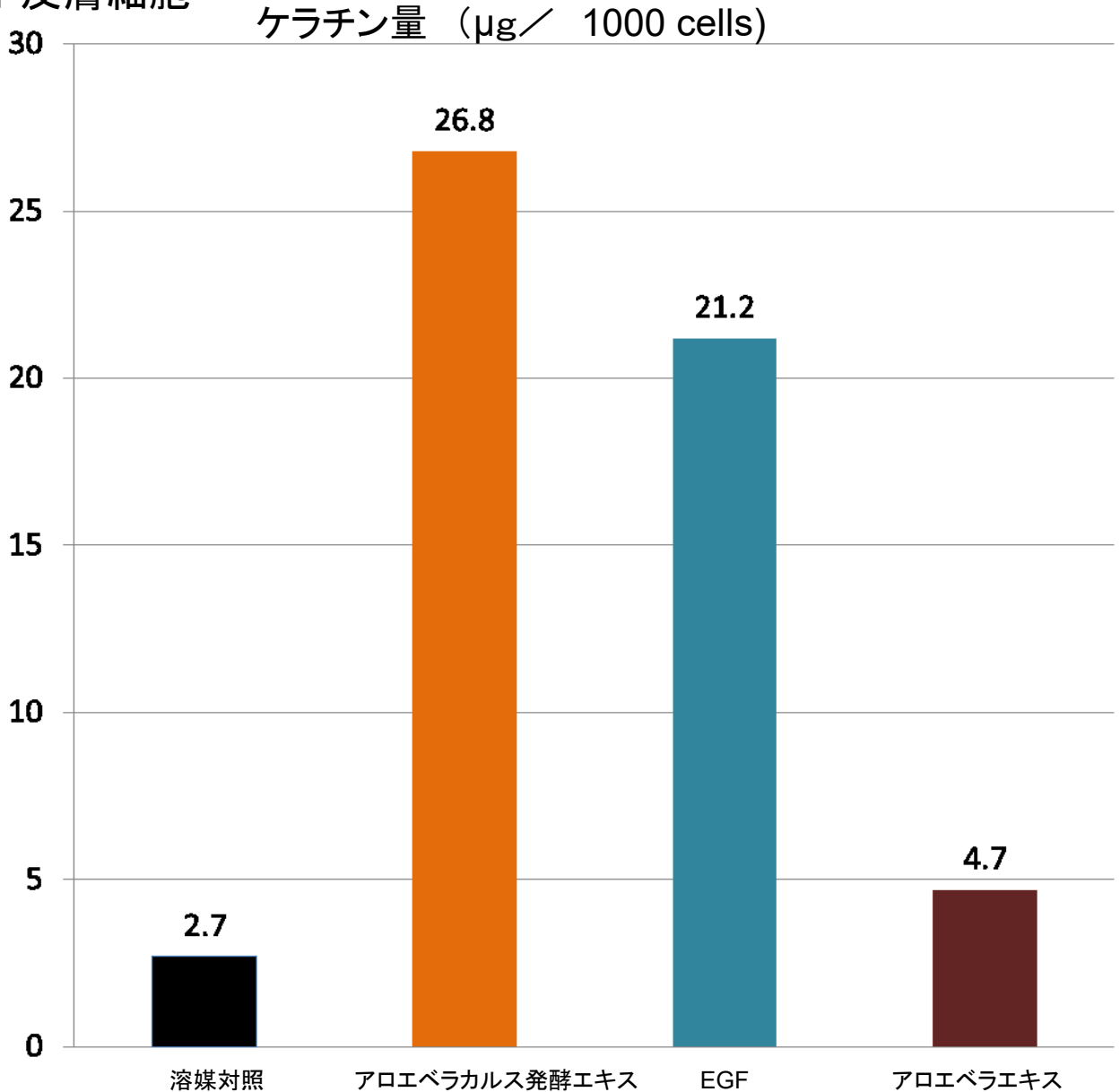


アロエベラカルス発酵エキスはヒト皮膚幹細胞を増殖させました。皮膚の修復作用が期待されます。

アロエベラカルス発酵エキス

ヒト皮膚細胞に対する働き — ケラチン増加作用 —

ヒト皮膚細胞

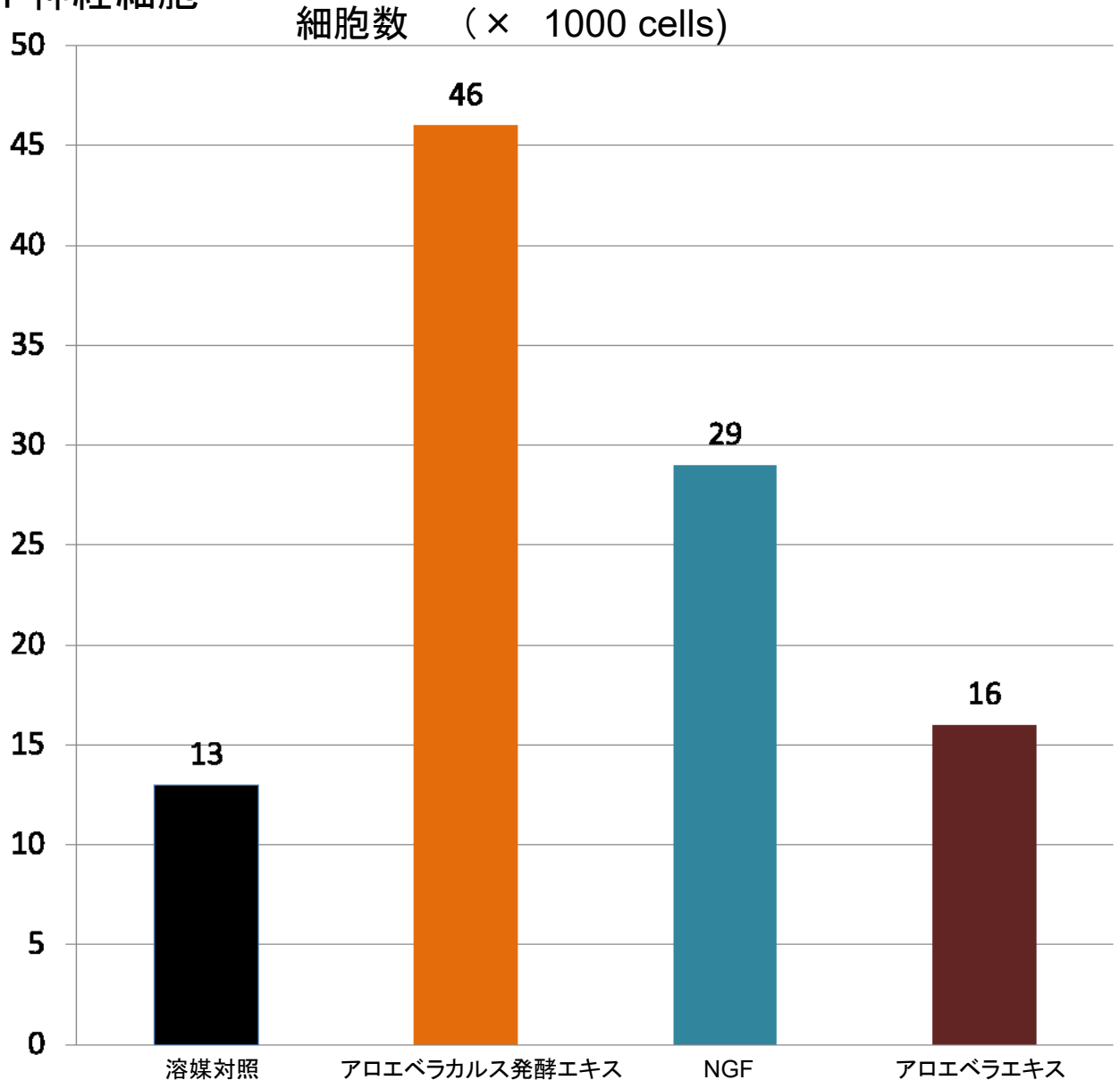


アロエベラカルス発酵エキスはヒト皮膚細胞のケラチンを増加させました。皮膚の補強作用が期待されます。

アロエベラカルス発酵エキス

ヒト神経細胞に対する働き — 神経細胞増殖作用 —

ヒト神経細胞



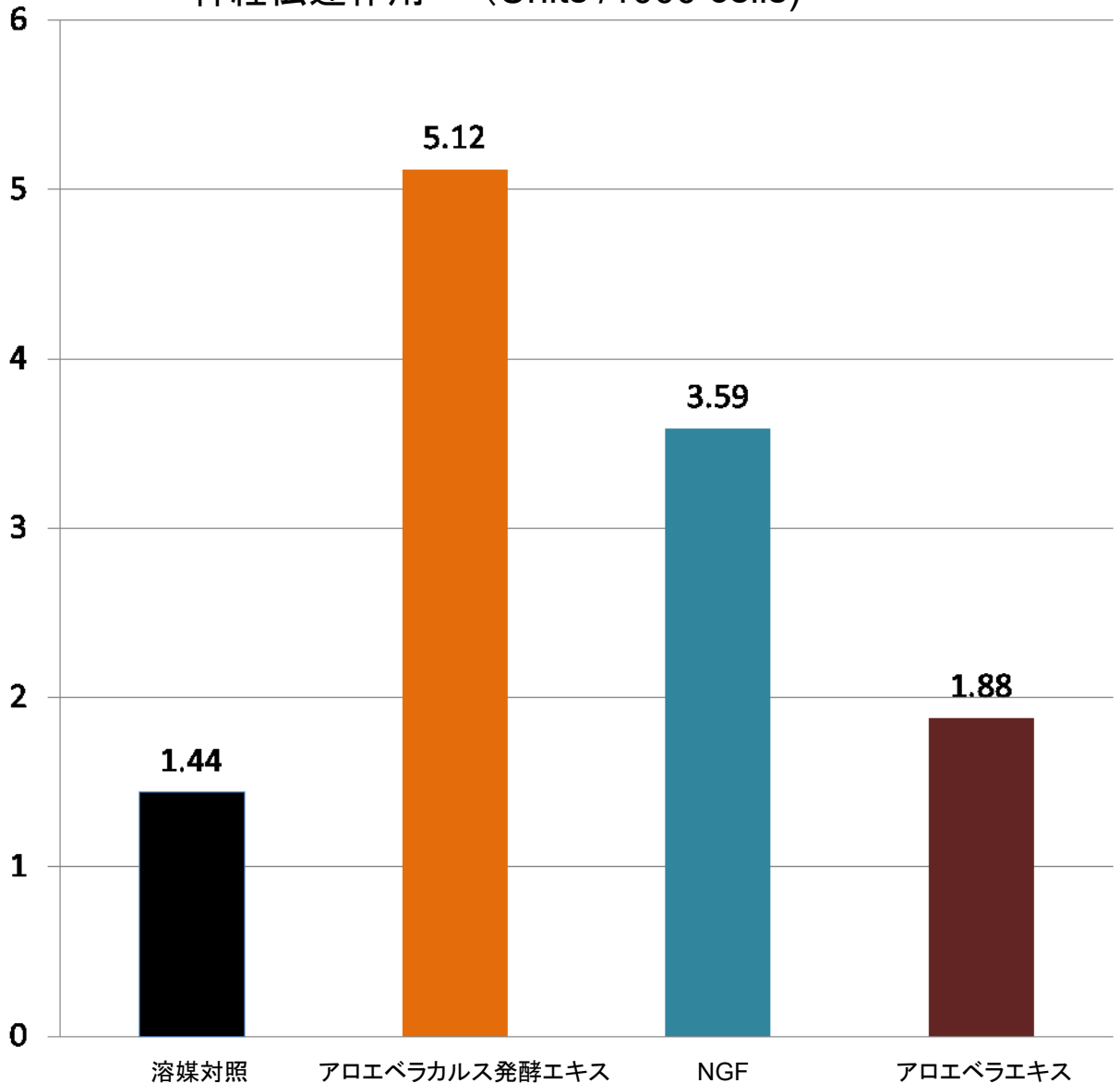
アロエベラカルス発酵エキスはヒト神経細胞を増殖させました。神経の障害に対する回復が期待されます。

アロエベラカルス発酵エキス

ヒト神経細胞に対する働き — 神経伝達作用 —

ヒト神経細胞

神経伝達作用 (Units /1000 cells)

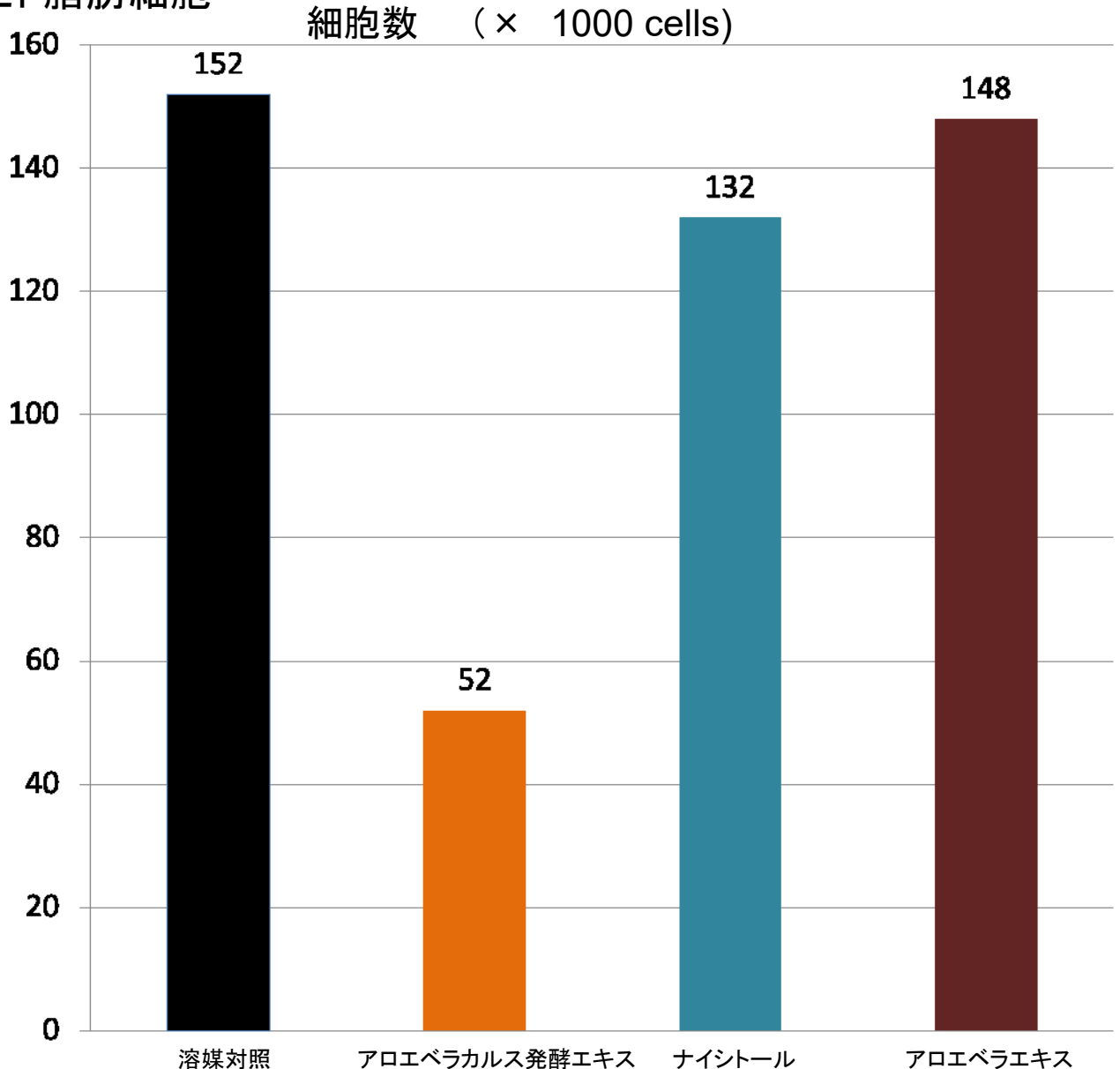


アロエベラカルス発酵エキスはヒト神経細胞の神経伝達作用を増加させました。神経の障害に対する回復が期待されます。

アロエベラカルス発酵エキス

ヒト脂肪細胞に対する働き — 脂肪細胞抑制作用 —

ヒト脂肪細胞

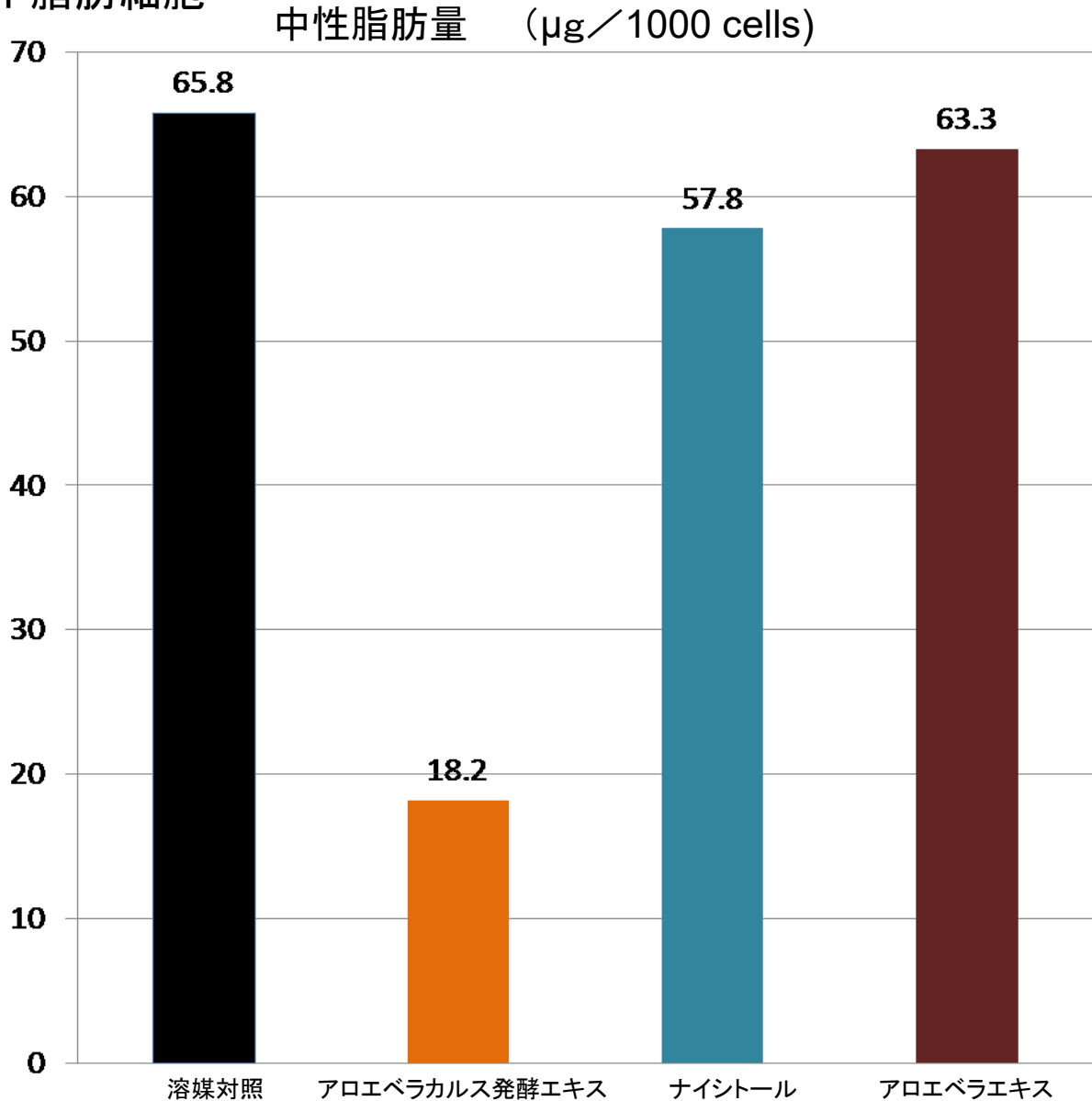


アロエベラカルス発酵エキスはヒト脂肪細胞の増殖を抑制しました。脂肪減少によるダイエット作用が期待されます。

アロエベラカルス発酵エキス

ヒト脂肪細胞に対する働き — 中性脂肪抑制作用 —

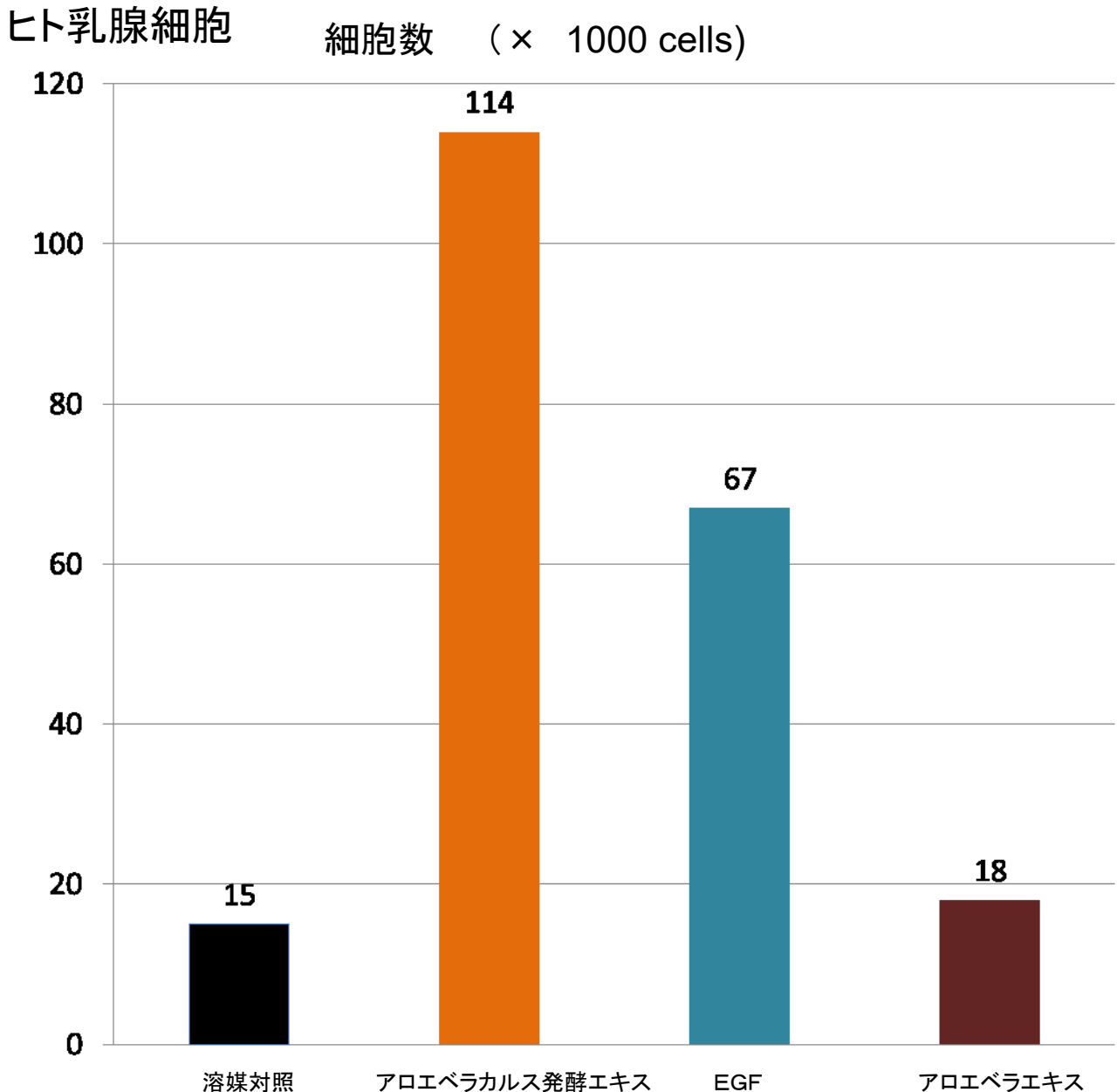
ヒト脂肪細胞



アロエベラカルス発酵エキスはヒト脂肪細胞の中性脂肪を減少させました。脂肪減少によるダイエット作用が期待されます。

アロエベラカルス発酵エキス

ヒト乳腺細胞に対する働き — 乳腺細胞増殖作用 —

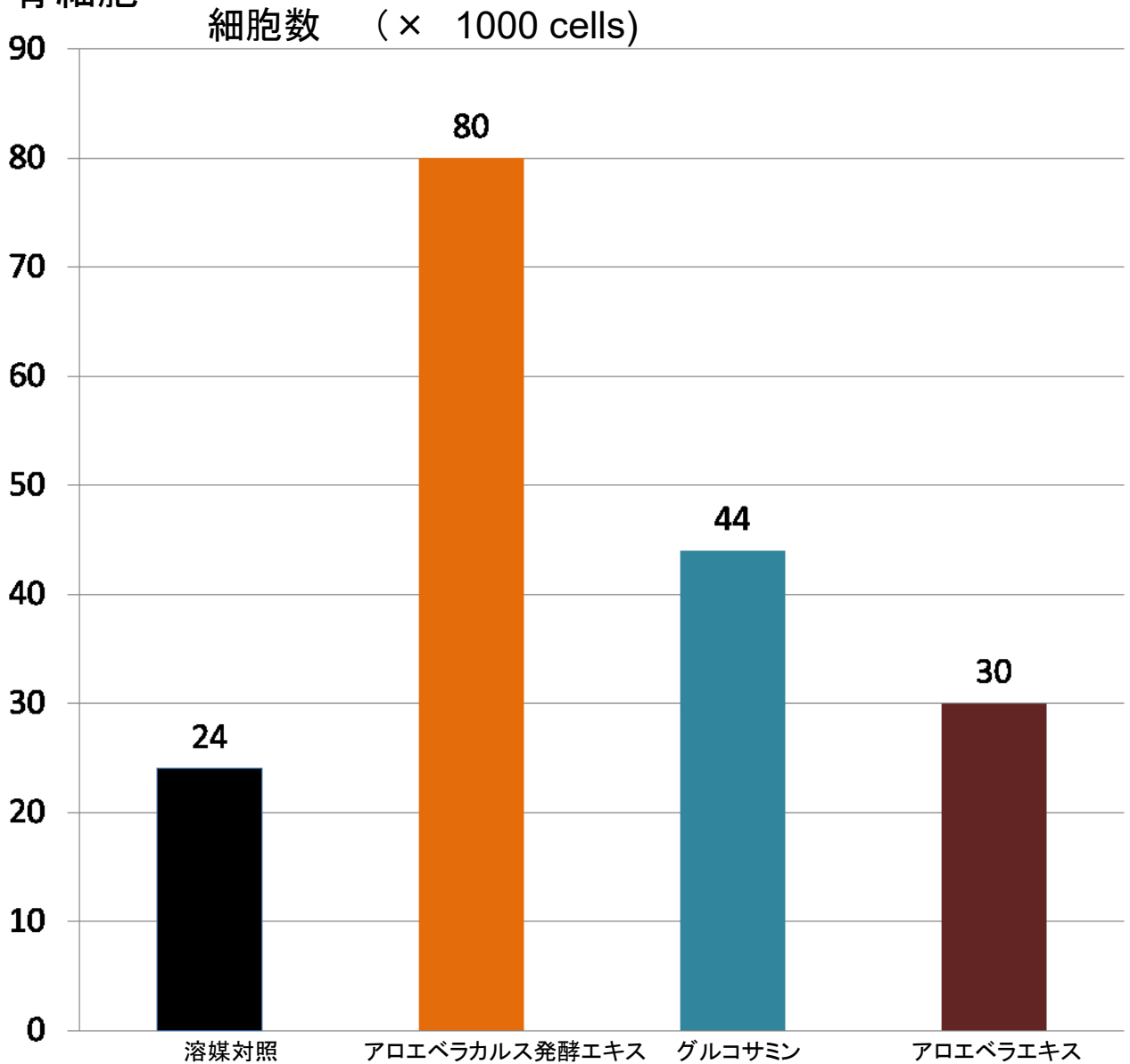


アロエベラカルス発酵エキスはヒト乳腺細胞を増殖させました。乳腺組織の発達が期待されます。

アロエベラカルス発酵エキス

ヒト骨細胞に対する働き — 骨細胞増殖作用 —

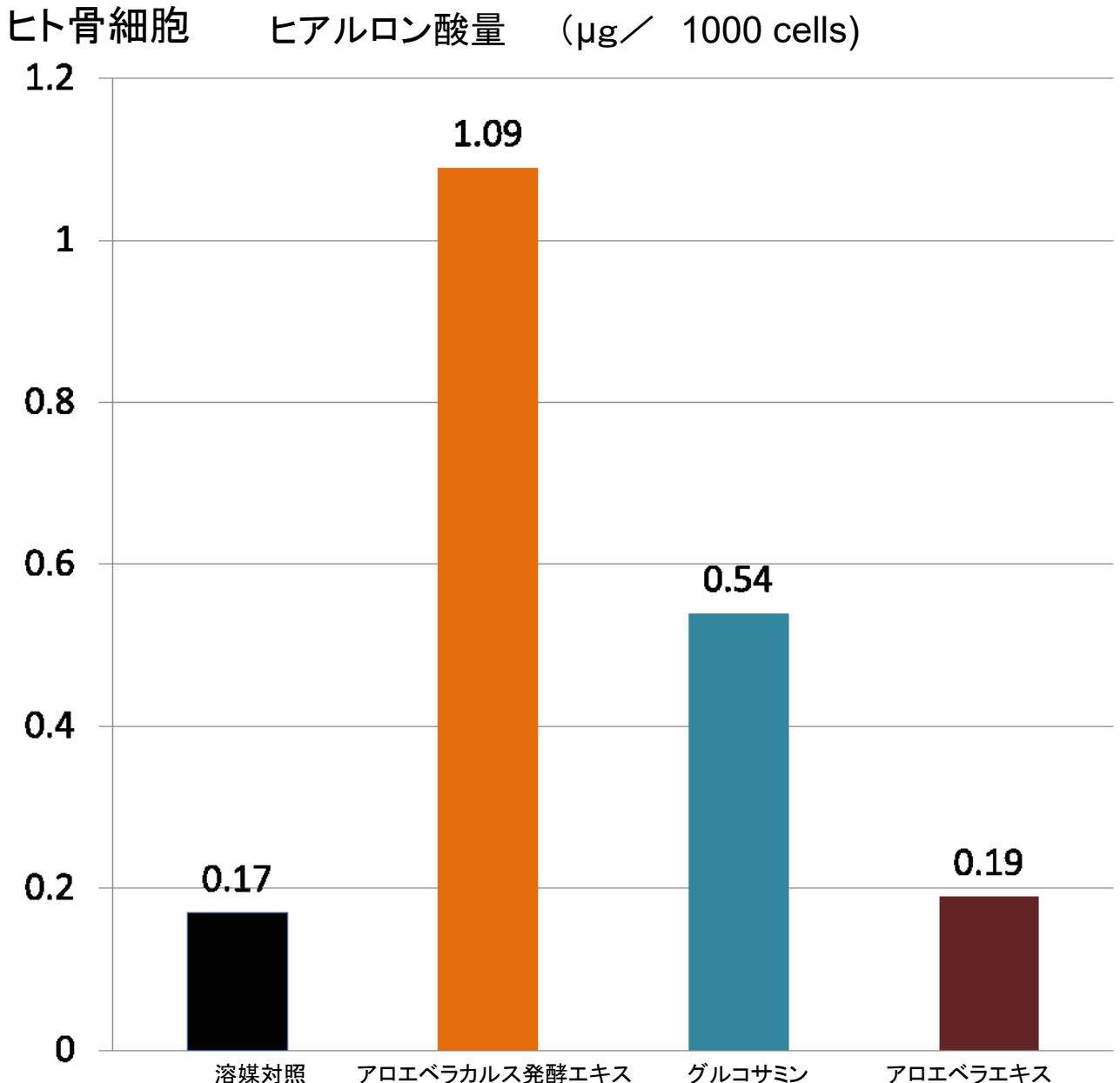
ヒト骨細胞



アロエベラカルス発酵エキスはヒト骨細胞を増殖させました。骨組織の発達が期待されます。

アロエベラカルス発酵エキス

ヒト骨細胞に対する働き — ヒアルロン酸増加作用 —

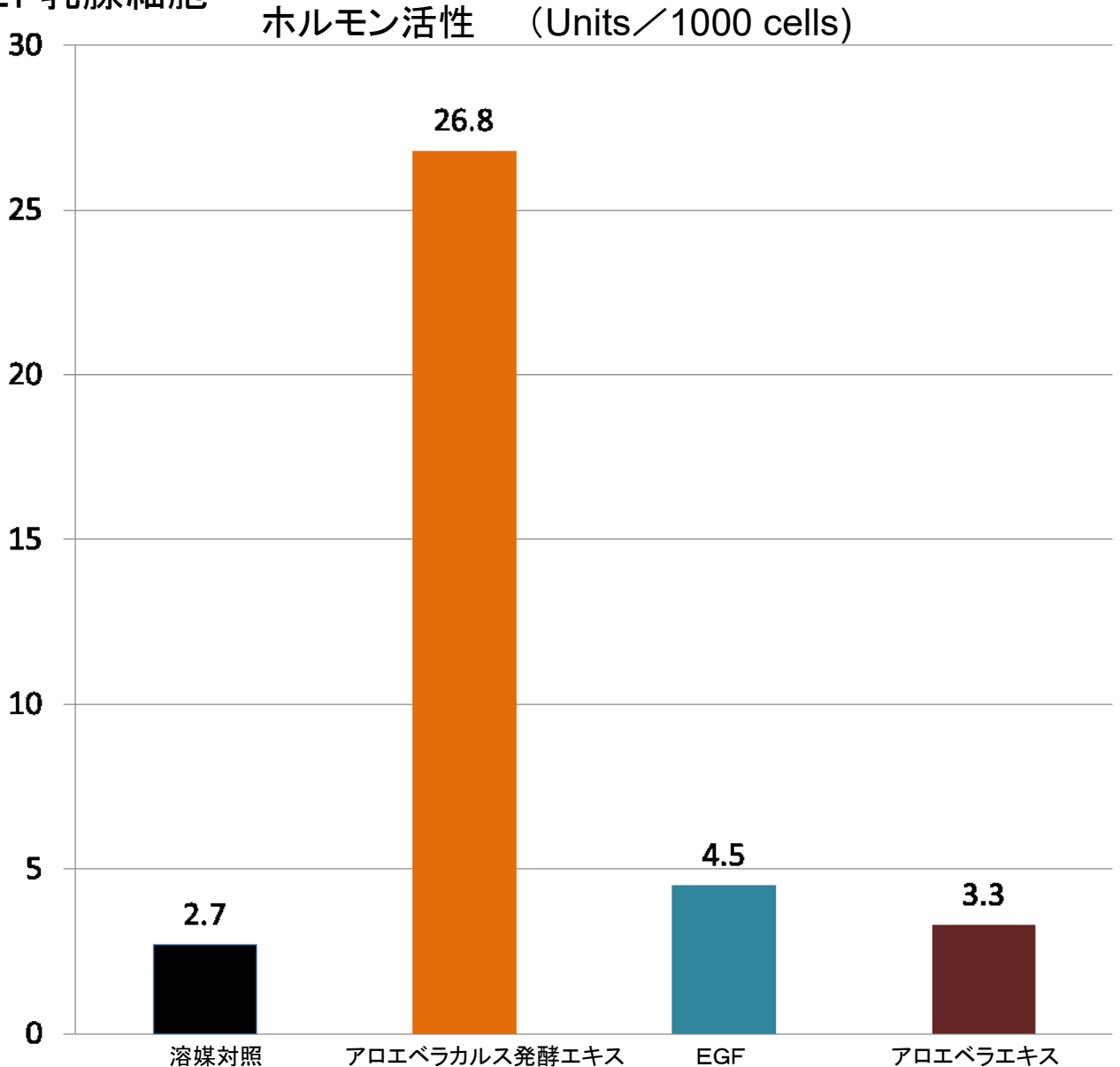


アロエベラカルス発酵エキスはヒト骨細胞のヒアルロン酸を増加させました。骨組織の発達と保護作用が期待されます。

アロエベラカルス発酵エキス

ヒト乳腺細胞に対する働き — ホルモン作用 —

ヒト乳腺細胞

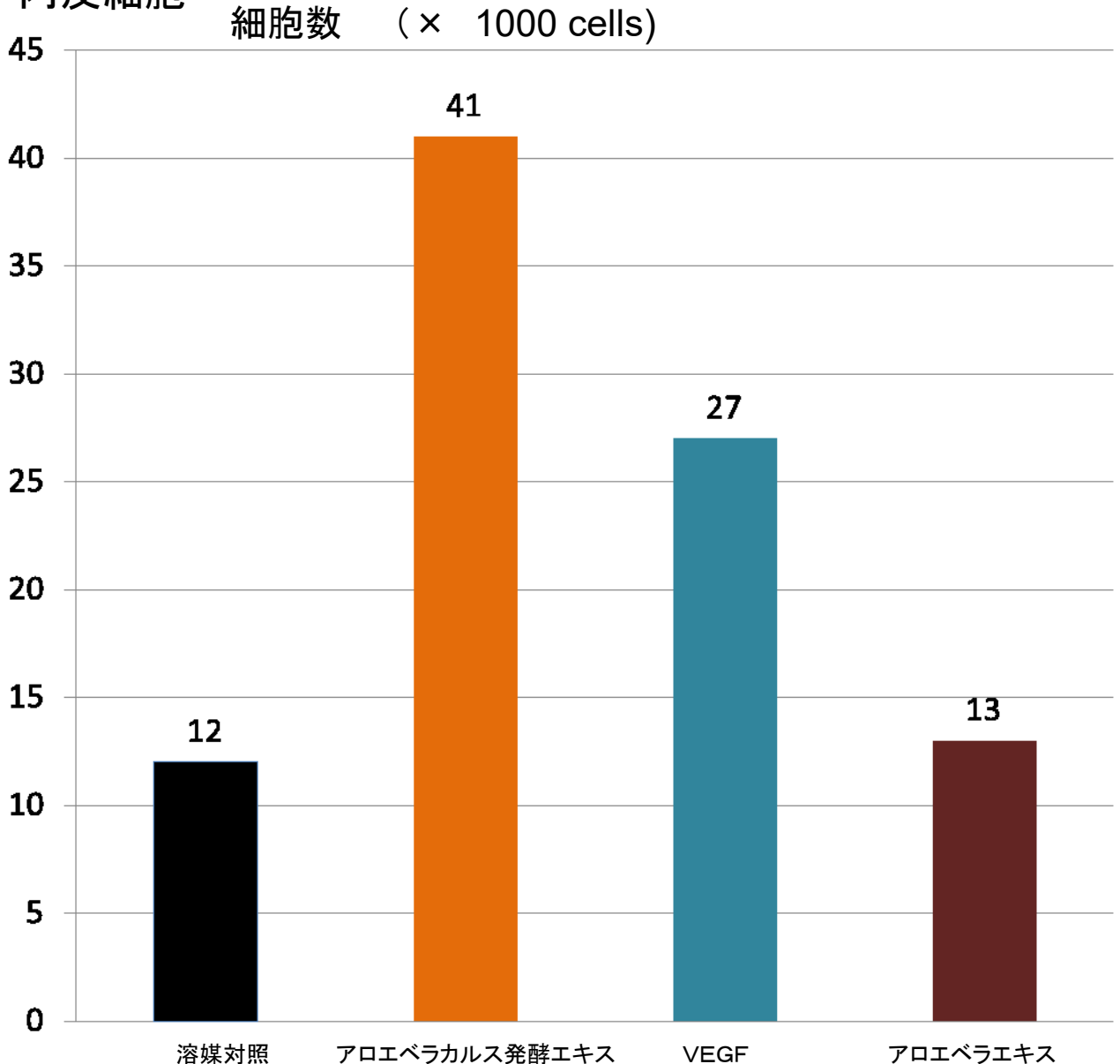


アロエベラカルス発酵エキスはヒト乳腺細胞に対してホルモン作用を増加させました。ホルモンとしての働きが期待されます。

アロエベラカルス発酵エキス

ヒト陰茎血管内皮細胞に対する働き — 内皮細胞増殖作用 —

ヒト内皮細胞

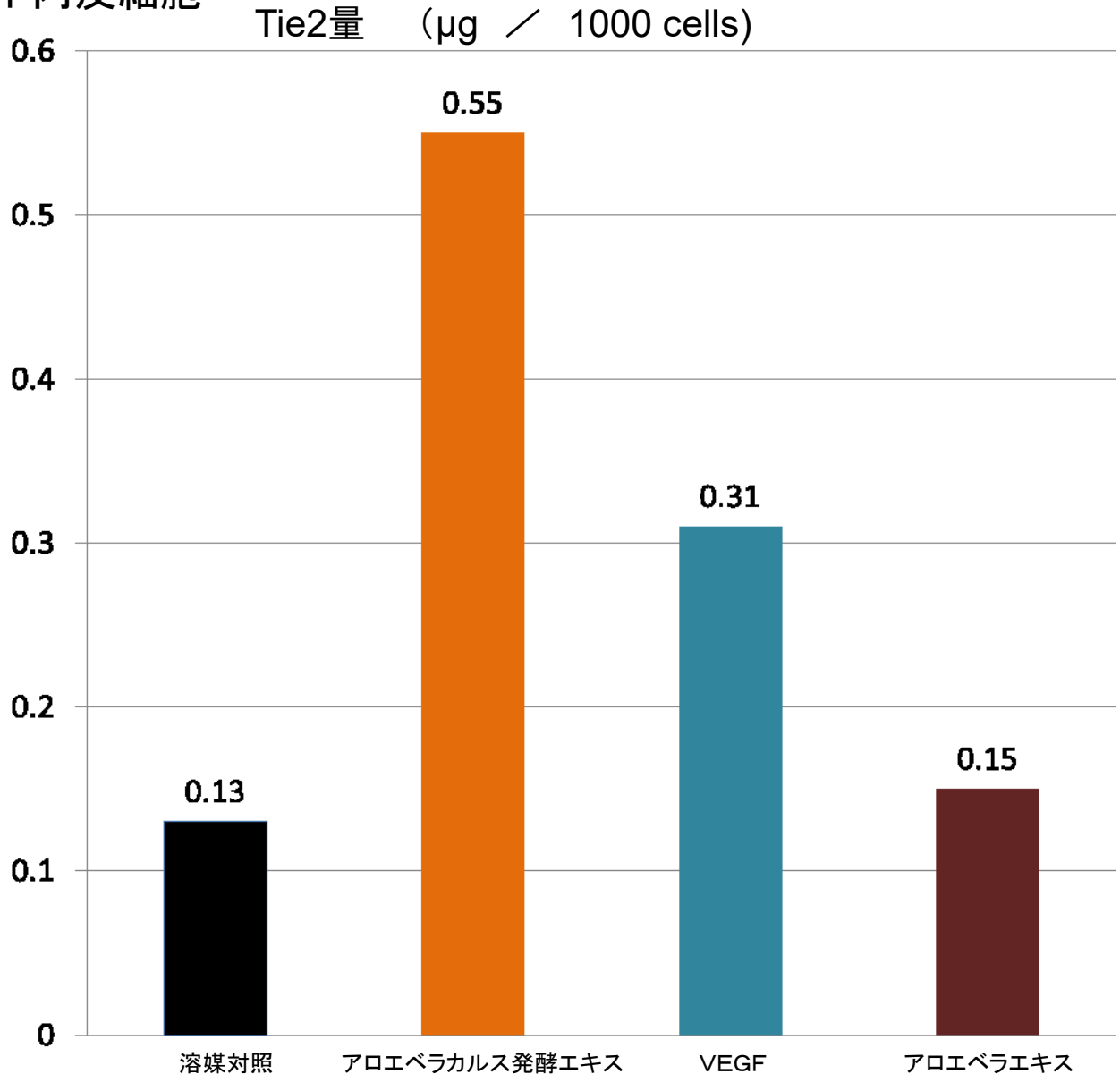


アロエベラカルス発酵エキスはヒト陰茎血管内皮細胞を増殖させました。陰茎血管の保護作用が期待されます。

アロエベラカルス発酵エキス

ヒト陰茎血管内皮細胞に対する働き — Tie2 増加作用 —

ヒト内皮細胞

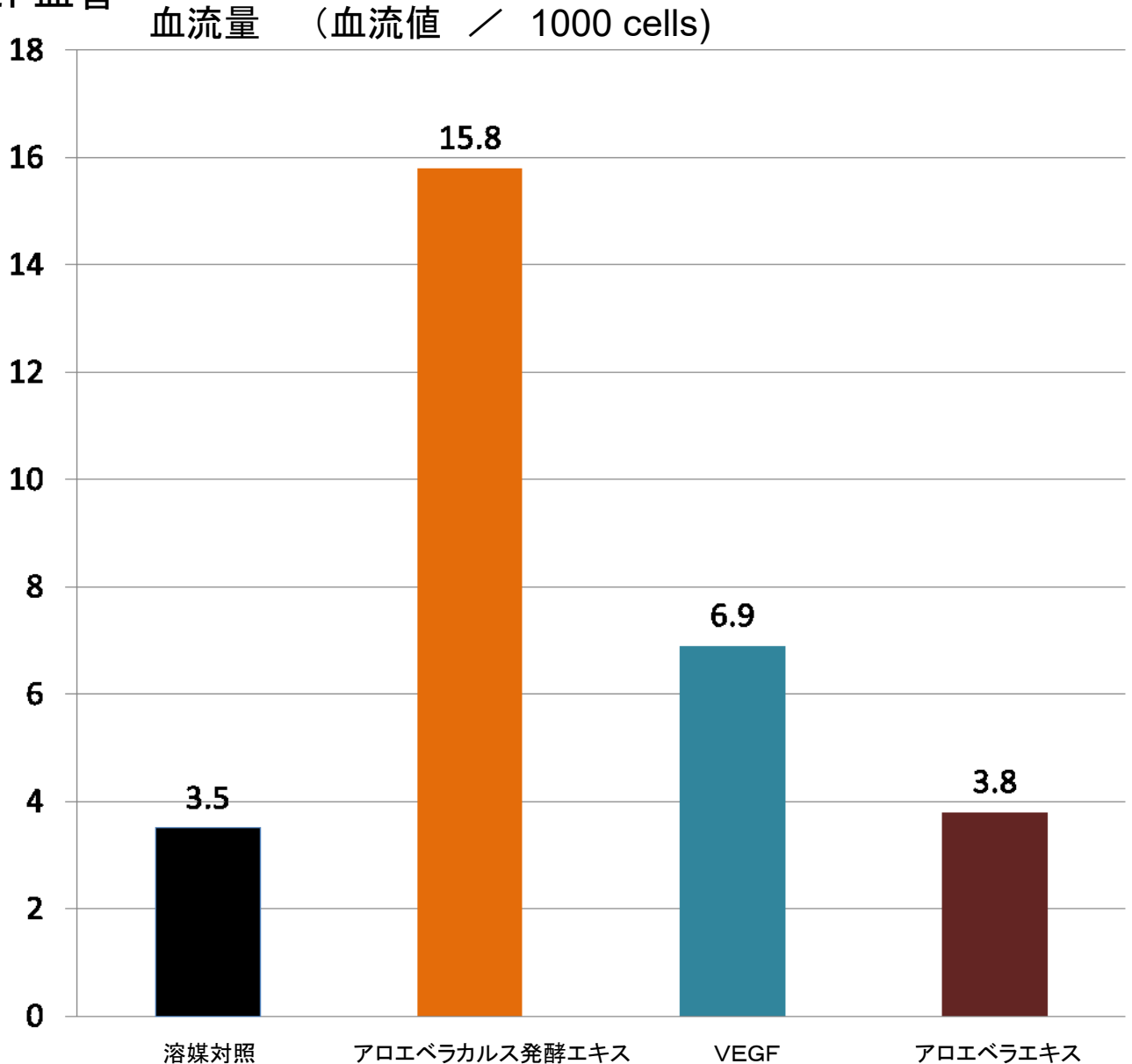


アロエベラカルス発酵エキスはヒト血管内皮細胞の Tie2 を増加させました。血管保護作用が期待されます。

アロエベラカルス発酵エキス

ヒト血管に対する働き — 陰茎血流増加作用 —

ヒト血管

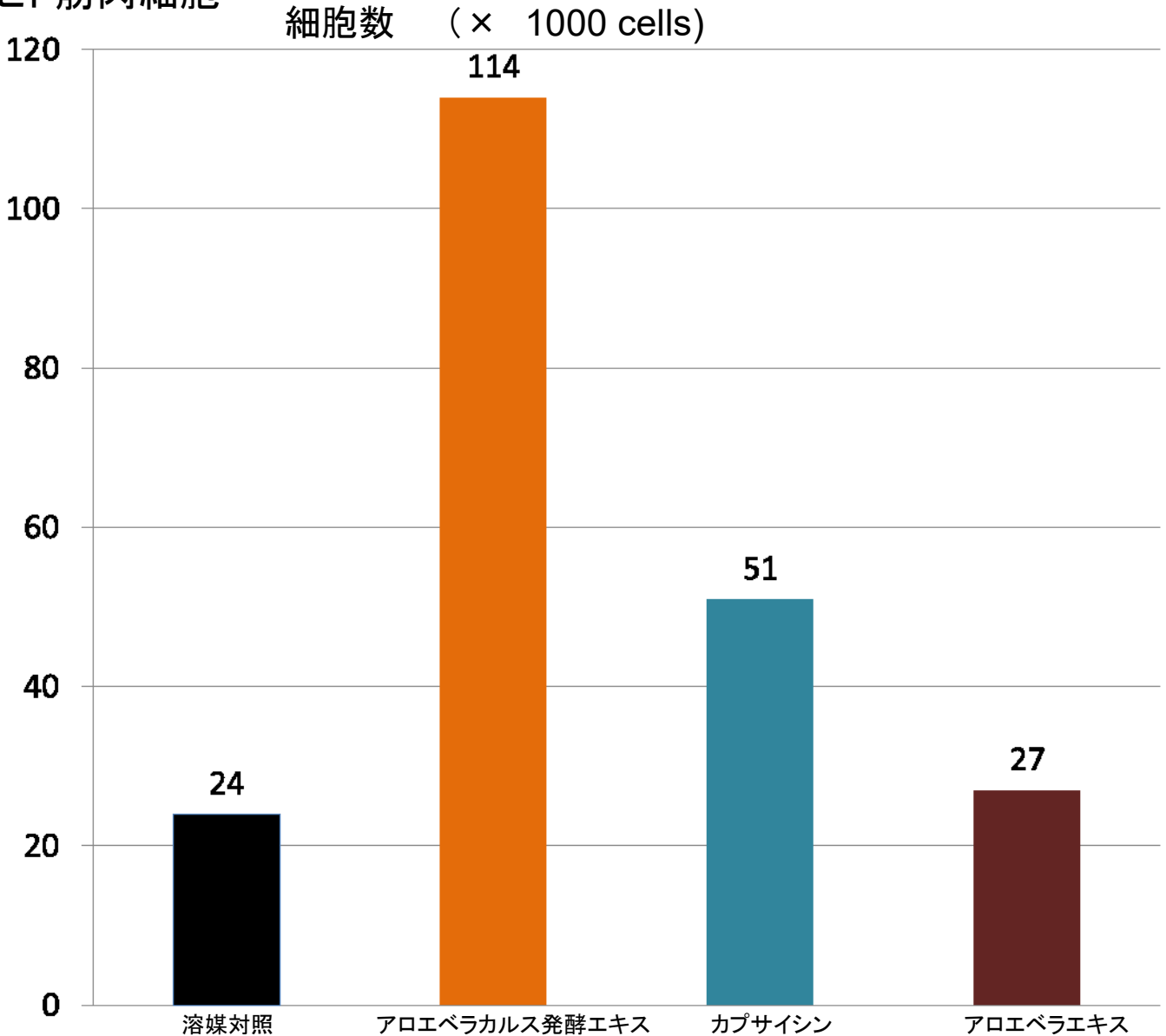


アロエベラカルス発酵エキスはヒト陰茎血管の血流量を増加させました。陰茎への血流改善作用が期待されます。

アロエベラカルス発酵エキス

ヒト筋肉細胞に対する働き — 筋肉細胞増殖作用 —

ヒト筋肉細胞

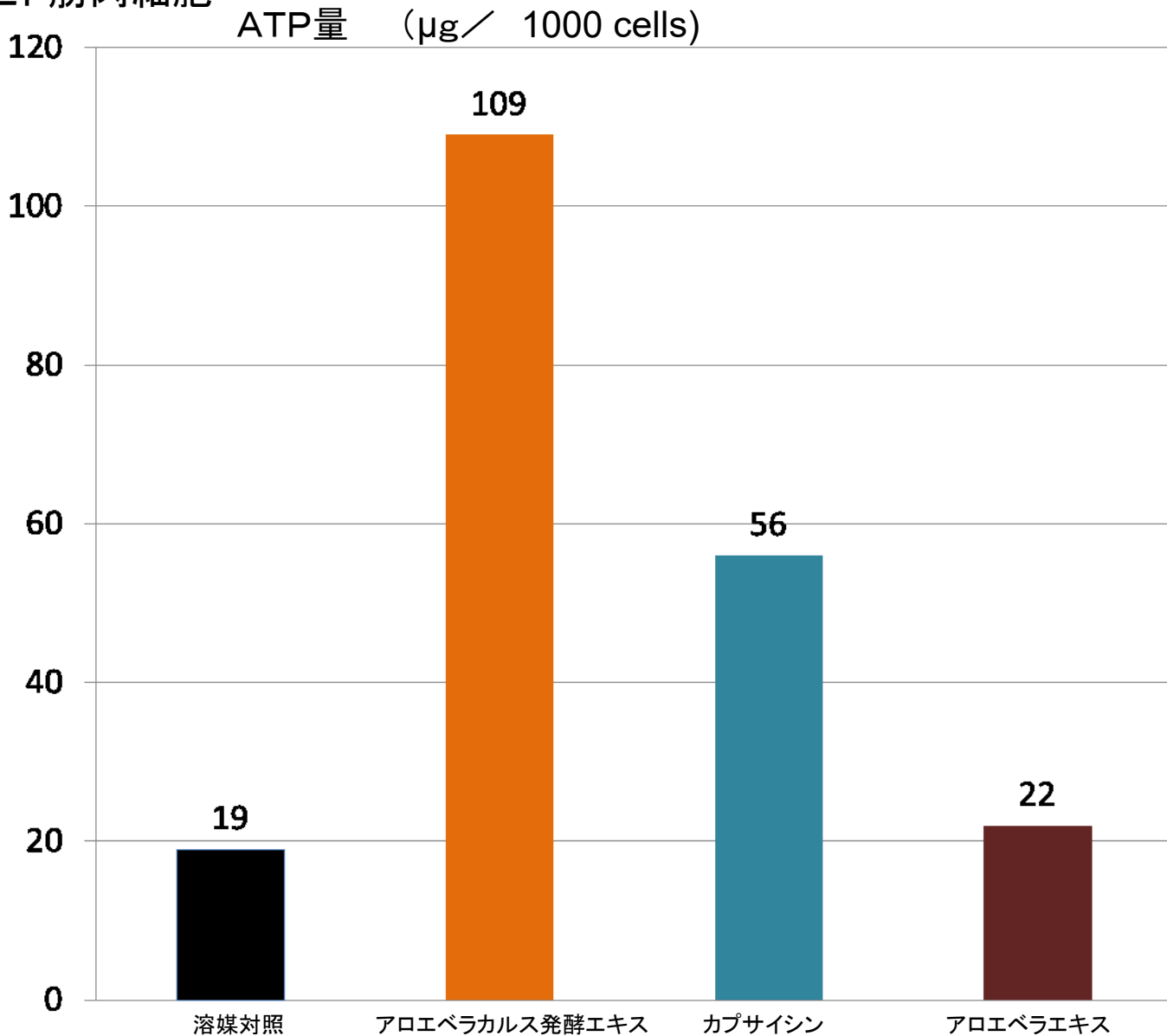


アロエベラカルス発酵エキスはヒト筋肉細胞を増殖させました。筋肉組織の発達が期待されます。

アロエベラカルス発酵エキス

ヒト筋肉細胞に対する働き — ATP産生作用 —

ヒト筋肉細胞



アロエベラカルス発酵エキスはヒト筋肉細胞のATP産生を増加させました。ATPはエネルギーの元であり、糖質や脂肪を分解して産生されるため、ダイエット作用が期待されます。

製品規格書

製品名 : アロエベラカルス発酵エキス (液体)

検査項目 :

1. 外観

検査項目	規格	測定方法
色	薄黄色～無色透明	目視
状態	液体	目視

2. 成分

検査項目	規格	測定方法
砒素	2ppm 以下	原子吸光光度法
重金属	20ppm 以下	硫化ナトリウム比色法
一般細菌数 (生菌数)	3000 以下 / g	標準寒天平板培養法
真菌数	陰性 / g	デキストリン培地培養法
大腸菌群数	陰性 (30 以下) / 100g	MPN 算出法

化粧品用及び食品用

化粧品表示名称 :

表示名称 アロエベラカルスエキス、ベニコウジ菌 / (アサイヤシ果実 / コメヌカ) 発酵液

INCI 名 Aloe Vera Callus Extract, Monascus/Euterpe Oleracea Fruit/Rice Bran Ferment Filtrate

食品用表示 アロエベラカルス発酵エキス (アロエベラカルス、アサイヤシ果実、コメヌカ、ベニコウジ菌)

原材料 : アロエベラカルス、アサイヤシ果実、コメヌカ、ベニコウジ菌

保管方法 : 直射日光を避け、冷暗所に保管する。

賞味期限 : 品質検査合格後、2年間。

製造国 : 日本

以上

安全データシート (SDS)

作成日 平成 30 年 1 月 15 日

< 1. 製品情報 >

製品名 : アロエベラカルス発酵エキス (液体)

製造法概略 : アロエベラカルス、アサイヤシ果実、コメヌカをベニコウジ菌で発酵し、濾過、滅菌した液体

< 2. 物質の特定 >

単一製品・混合物の区別 : 発酵エキス液

化学名 (一般名) : 特定できない

CAS RN : 特定できない

化審法番号 : なし

安衛法番号 : なし

国連番号 (番号 クラス) : 該当せず

E I N E C S : なし

T S C A : なし

< 3. 危険有害性の分類 >

分類の名称 : 分類基準に該当しない

危険性 : 可能性がある。 熱、火花及び火災で着火することがある。

有害性 : 眼、呼吸器及び皮膚を刺激するおそれがある。

環境影響 : 記載すべき情報はない。

< 4. 応急措置 >

目に入った場合 : 直ちにまぶたを開いて、流水で 15 分間以上洗浄する。症状が出た場合等、必要に応じて医師の相談を受ける。

皮膚に付着した場合 : 症状が出た場合等、必要に応じて医師の相談を受ける。

吸入した場合 : 症状が出た場合等、必要に応じて医師の相談を受ける。

飲み込んだ場合 : 多量に飲み込んだ場合、下痢を起こす場合がある。症状が出た場合等、必要に応じて医師の相談を受ける。